

特集／幸せな地域の暮らしをつくる
平成27(2015)年7月1日発行
頒価／1,000円(送料別途)

発行

大阪ガス(株)
エネルギー文化研究所(CEL)
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町4-1-2

発行人

小西池透

企画・制作
加賀城俊正

編集人

湯原公浩

編集

(株)平凡社

Art Direction & Design

岡本一宣デザイン事務所

校正

(株)アンテナバンドン

DTP制作

(有)ダイワコムズ

印刷・製本

(株)東京印書館

お問い合わせ窓口

大阪ガスビジネスクリエイイト(株)
TEL 06-6205-4650
FAX 06-6205-4759
CEL@ogbc.co.jp

Research Institute for
Culture, Energy and Life
©2015 OSAKA GAS CO., LTD

※禁無断転載複製 ※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも大阪ガスの見解を表すものではありません。本誌バックナンバーのコンテンツやエネルギー文化研究所(CEL)の活動内容は、インターネットホームページでご覧いただけます。

幸せはどこに

大阪ガス(株)
エネルギー
文化研究所 所長

小西池 透

2015年4月就任

Konishiike Tooru

「幸せってなんだっけ……?」。昔、こんなふう
に問いかけるテレビCMソングがあったように思
います。人間にとって幸せとは何か、時代は移れ
ど決して変わることのない永遠のテーマです。

本号では「幸せな地域の暮らしをつくる」と題し、
国内外のさまざまな事例を交えて考察しました。
地域に暮らす人々の幸せを実現することが、その
地域の発展につながるという考え方のもと、多く
の取り組みが進められています。そのなかで、「幸
せリーグ」の活動に見られるように、幸せの度合
を指標化する新たな動きも出てきました。

単に経済的な指標にとどまらず、精神的な満足
感についても数値で示そうという試みは注目に値
します。住民の地域との“つながり・絆”や地域
や他者のために何ができるかという“利他の精神”
を指標に組み入れている例もあります。まさにマ
ズローの欲求段階説に言う究極の6段階目を追求
するまでに、人々の「幸福の高度化」が進んだ証
だと言えるのではないのでしょうか。

但し、このことをもって、指標が高い地域はみ
んなが幸せだと結論づけるのは早計です。今後こ
のような指標を活用していくうえで忘れてはなら
ないのは、100人いれば100通りの幸せがあるとい
うことです。臨床心理学者で文化庁長官も務めら
れた故・河合隼雄さんは、ご自身の著書のなかで
“幸福の効率計算”について述べています。クラ
シック音楽が好きだった河合さんは、当時として
は大金の800円を奮発してコンサートを楽しみま
した。その帰り道のこと、立ち寄ったうどん屋で
わずか10円のうどんを幸せそうに食べる周囲の人
たちを見て、自分は果たして80倍の幸福感を感じ
ていただろうかと自問自答します。人が「かけが
えのない」と感じるひと時があったなら、それは
その人にとって「無限大」の価値があり、そのた
めに使ったお金や時間がどれほど大きいかは問題
にならないのではないかと……。

「ナントカ醤油のある家さ。」と続く冒頭のCMは、
その意味で、人間の幸福についてのひとつの本質
を突いています。幸せは案外身近なところにある
のかもしれない。